

めざす子ども像

## 心身ともにたくましく、自他を大切にし、 自ら学び、主体的に行動する子ども

取組目標

- ・ 将来必要な「生きる力」を培うための、学校では習わない知識・能力を育成する

### 【今年度の取組紹介】

昨年度に引き続き、小学部での絵本の読み聞かせを対面で実施しました。

今年度はこれに加え、校区内の「公私連携幼保連携型認定こども園 富雄藍咲学園」や、「奈良県立奈良西養護学校」からの要請を受けて、読み聞かせボランティアの方々を派遣し、地域内での活動の場を拡げました。また、今年初めての試みである帝塚山自治協議会主催の「帝塚山フェスタ」に、以前学校で飼育していたひつじの毛を使用した羊毛クラフト体験のブースを出店し、店番の中学部の生徒と、来場した地域の方々がワークショップを通して交流を深めることができました。

この「帝塚山フェスタ」への出店および準備段階でのボランティア募集等をきっかけに、地域の方々からも羊毛クラフトのワークショップの開催を依頼されるなど、学校外へも活動を拡げることができました。



絵本の読み聞かせ

羊毛クラフト体験ブース  
「帝塚山フェスタ」にて

### 【今年度のまとめ】

手探り状態ながらできることを少しずつ増やせた一年でした。

羊毛クラフト体験ワークショップの開催や、小学部家庭科授業でのミシン掛けのお手伝いなど、新型コロナウイルス感染拡大前に実施していたことにもようやく取り組み、子どもと直接関われる機会を増やせたことで、意欲的に取り組んでくれるボランティアの数も増えました。

校内だけでなく、こども園での味噌作りやお茶会体験、養護学校での絵本の読み聞かせなど、活動の場が地域内の他の学校へも拡がりました。

### 【来年度に向けて】

活動制限が緩和されたとはいえ、自然災害や感染拡大など、まだまだ安心はできないが、少しずつ以前実施していた活動を復活すると同時に、こども達の成長の一助となるような新たな活動に取り組みたいです。

**めざす子ども像** **心身ともにたくましく自他を大切にし、  
自ら学び主体的に行動する子ども****取組目標** 子どもたちと地域の方々との関わりの中で、子どもたちは人との関係を学び、地域の方々には学校や児童生徒に対する理解を深めていただくとともに、相互に有益な関係を築くことができる取組を充実させる。**【今年度の取組紹介】**

5月以降、新型コロナウイルスの扱いが変わり、計画していた事業について、状況を見ながら慎重に進めてきました。特に、中学部においては、引き続き生徒の学習環境として本校図書情報室の環境整備に力を入れ、図書ボランティアの方をはじめとして教職員、学校図書館司書の方の連携を密にしながら、納本された本へのブックカバー装備、本の修理、ブックエンドを利用した書架の表示など、生徒が図書情報室を利用する上で便利のように工夫をこらした作業を行いました。

キャリア教育支援事業としては、コロナ禍で希薄になったコミュニケーション力を身に着けるため、7年生では仲間づくりプログラムや職業人講話の実施。8年生は人間関係づくりプログラムや職場訪問学習の事前学習としてのマナー講習会。9年生は進路実現のための対策として、マナー講習会を実施しました。また、環境整備事業として、校門付近・グラウンド等、学校の敷地内外の草引き・草刈り・剪定作業等を行いました。ボランティアで来てくださる方のご都合やPTA、生徒の活動時間をうまく合わせる事が難しい場面もあり、今年度は協働での活動が少なかったことが次年度への課題となりました。



仲間づくりプログラム



7年生職業人講話

**【今年度のまとめ】**

コロナ禍の影響で、計画した事業について慎重に状況を見ながらの実施となり、コーディネーター会議など、地域の方と打合せを重ねる中で、地域としてめざす子ども像に、いかに迫ることが出来るかについて、共に考えることが出来ました。小中学校として地域の皆様に登下校の見守りをはじめ、児童生徒の姿を日常的に地域の方が見ていただいていること、児童生徒の学習環境についても図書館司書の方とタイアップして読書環境の整備にご尽力をいただきました。

**【来年度に向けて】**

新型コロナの新しい扱いやその他の感染症対策を講じながら、コロナ前の取組を導入することや学力補充の取組を進めていきたいと考えています。また、新たな取組を計画し、地域の方の子どもを大切に守り育てるという思いを大切に取組んでいきたいと考えています。子どもの実態をみつめ、地域としてめざす子ども像を共有し、具体的にどのような手立てで事業を実施していくのかを明確に共有しながら進めていきたいと思えます。地域の方からはボランティアを新たに申し出てくださる方もあり、とてもありがたく感じております。大人の姿を見て子どもが育つような素晴らしい関係を地域の方と教職員とで築いていきたいと考えています。

**めざす子ども像** **心身ともにたくましく、自他を大切にし、自ら学び、主体的に行動する子ども**

**取組目標** **子どもたちと地域の方々との関わりの中で、子どもたちは人との関係を学び、地域の方々には学校や児童生徒に対する理解を深めていただく。相互に有益な関係を築くことができる取組を充実させる。**

#### 【今年度の取組紹介】

コロナ禍の終息により、感染対策を考慮しながら可能な限りの活動を模索し、実践しました。図書の読み聞かせの活動では、昨年度から学級ごとに対面での読み聞かせを実施しています。子どもたちも自席からだけでなく、絵本の周りに集まって聞くという形もとれました。また、年間通しての実施もできましたし、読んでいる近くで子どもたちの表情や反応を見ながら読めることがとても嬉しいと喜んでおられました。

また、環境整備活動では、校舎沿いの学級園で、ジャガイモとサツマイモの苗植えから収穫までを実施できました。ひまわりの児童と2年生の子どもたちが地域の方と一緒に取り組み、ちょうど教室から畑の様子が見える場所なので、大きくなっていく様子も良く分かり、ジャガイモもサツマイモもとても豊作で子どもたちの喜ぶ姿が微笑ましかったです。ジャガイモについては、ひまわり児童が、生活単元学習で販売してくれて、売れ行きも上々でよい学習ができました。

今年度も、3月にジャガイモの種芋をひまわり児童が植えます。毎年、地域の畑で収穫させていただいていましたが、今年からは学校の畑だけでジャガイモとサツマイモの収穫ができそうです。



サツマイモ収穫の様子

#### 【今年度のまとめ】

環境整備支援、読書活動推進、学習補助等に、多くのボランティアの方が登録してくださっています。高齢化のため人数は減少傾向にありますが、工夫をしながら参加してくださっています。子どもたちと地域の方が出会い、ふれあい、ともに活動することで、大人も子どももこの地域のなかで暮らしていることを意識することができました。今年度は、多くの活動ができたため、「めざす子ども像」を共有し、よりよい学びの構築のため時間や思いを共有できました。

#### 【来年度に向けて】

今年度も、地域のボランティアの方より「もっと役に立ちたい」という温かいご意見を複数いただきました。ボランティアの方が減少するなか、人数を確保することだけでなく、様々な活動を効果的に実施するため、新しい生活様式に対応する事業の視点をもつ必要性を感じています。今後も、地域とともに子どもたちのために有意義な活動が実現できるよう、連携を密にして取り組んでいくことに注力します。大人も子どもも地域のなかでの自己有用感を感じられる取組が運営委員会の事業として展開できるように努めます。

めざす子ども像

**心身ともにたくましく、自他を大切にし、****自ら学び、主体的に行動する子ども**

取組目標

- ・地域の教育力を活かした、こ小中連携教育の実践に取り組む
- ・「やってみたい」一人一人が輝き夢中になって遊ぶ子を目指して  
～興味をもつ環境を探る～のテーマに沿った、地域との連携

## 【今年度の取組紹介】

昨年度同様、茶道の講師の先生より日本の伝統文化に触れる機会を継続してきたことは、地域の教育力が保育現場で活かされました。お茶のお点前だけではなく、茶器、掛け軸、生け花などの本物に触れ、それらの意味や由来などを教えていただき、季節が感じられました。豊かな経験を通して心を育み、情緒豊かに育つためには今後も地域力を多いに活用していきたいです。

ダンス教室では、子どもの体力作りに着目して、楽しい曲に合わせてダンスを踊りました。この経験からダンスに興味をもつ子どもも多くなりました。マリンバや吹奏楽は、本物の楽器の音色を聴くことは感動体験につながり、楽器や音楽への興味を高まりは心の育ちにもつながりました。



茶道教室の様子



マリンバの演奏会



近大農学部吹奏楽部の演奏



ダンス教室の様子

## 【今年度のまとめ】

一年を通して園児たちは、様々な経験を重ねてきました。今年度、園の活動に携わってくださった講師の方、コーディネーターに多大なるご協力をいただくとともに、多くのボランティアの方にもお世話になり、子どもたちの豊かな経験につながりました。ボランティアの方からも「やりがいがある。こちら元気になる。」というお声も聞かせていただき、相互に良好な機会となっていることを実感しました。今年度、地域の教育力を活かして、様々な機会をつくり貴重な経験を通して、自園が目指す子どもの姿に重ね、心揺さぶられる経験をできたことは成果として捉えています。

## 【来年度に向けて】

R6年度は、新たな取組を計画し、今年度以上に地域の方々とのふれあいや関わりを深め、地域に根差した富雄藍咲学園として地域の皆さんに愛される園に成長できるようにしたいです。そのためにも新たな取組に積極的に取り組み、子どもたちがこの地域で心身共にますます成長することを目指していきたいです。